



### 表情豊かに

#### 平成27年度菊陽町童話発表大会

菊陽町童話発表大会が7月23日、図書館ホールで開催され、町内の小学生12人が参加しました。

児童は、お気に入りの童話や民話などを本を持たずに表情豊かに発表。物語の情景が浮かんでくるような発表に観客もすっかり聞き入っていました。

今大会では、菊陽南小4年の土田真由さん、武蔵ヶ丘北小5年の駒澤莉々子さんが最優秀賞を受賞。8月20日に合志市で開催された郡市大会に町代表として出場し、入賞しました。



▲(左から)武蔵ヶ丘北小5年の駒澤莉々子さん、菊陽南小4年の土田真由さん

### みんなでつくる安全・安心

#### 大津地区防犯協会連合会で表彰

大津地区防犯協会連合会の定期会が7月16日、大津警察署で開催され、地域の安全・安心のための防犯活動に功労のある団体として南八久保防犯パトロール隊(上野幸一代表)が表彰されました。

同パトロール隊は40代から70代のメンバー49人で構成。子どもたちの下校に合わせて、2人1組でパトロールしています。代表の上野さんは「今後も協力しながら地域の安全を守る活動を続ける。人と人のつながりを大切にしていきたい」と前を見ました。



▲大津警察署で表彰を受ける代表の上野幸一さん(左)

### 笑いで口永良部島を支援

#### 三遊亭歌之介師匠チャリティー寄席

口永良部島災害支援チャリティー寄席実行委員会主催の三遊亭歌之介チャリティー寄席が8月26日、菊陽町図書館ホールで行われました。

会場には約500人が来場。歌之介師匠の落語を堪能した来場者は「間近で初めて落語を聞きました。お笑いの話と人情の話もあり、泣いている人もいたようでした。とても面白かったです」と満足していました。

皆さんから寄せられた義援金約53万円は姉妹都市・屋久島町へ災害義援金として贈られます。



▲来場者の笑いを誘う歌之介師匠

### 先祖の供養と無病息災を祈る

#### 上津久礼「川施餓鬼」

町の無形民俗文化財・川施餓鬼が8月19日、上津久礼グラウンドで行われました。川施餓鬼は、水難や疫病による人畜の供養と無病息災を祈念するために330年以上行われている上津久礼の伝統行事。当日は、津白橋近くのグラウンドの慰霊碑前で住民など約20人がいる中、読経を行いました。その後、上津久礼区の住民が6つの組に分かれて、竹と麦わらでかたどって作った馬にちょうちんを付けた「施餓鬼船」をグラウンドに並べ、夏祭りを楽しみました。



▲住民が力を合わせて作り、グラウンドに並べられた施餓鬼船

### 町独自の地方創生を目指して 菊陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

第2回菊陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を8月28日、菊陽町役場で開催しました。

会議では、人口ビジョン案により町の抱える課題や25年後までの推計人口などを説明。今後取り組む具体的な施策を盛り込んだ総合戦略案も示しました。

今後は計画年度における施策の数値目標を設定します。委員の皆さんからの意見や提案を参考に10月末までに総合戦略を策定する予定です。



▲委員の皆さんからは多くの質問や意見がありました

町と(株)熊本玄米研究所は8月28日、菊陽町役場で企業立地協定を締結しました。同社は6次産業化事業である農林漁業成長産業化ファンドが出資し、県産玄米を中心に作った玄米ペーストと米粉麺の製造工場を中尾区に建設。年明けから操業を開始する予定です。同社の西山忠彦社長は「使う原料の米を10倍に拡大する。地産地消で地域の農業を活性化し、菊陽町のPRと発展に貢献していきたい」と力強く話しました。



▲固い握手を交わす(左から)西山忠彦社長、立会人の肥後銀行・竹下元久理事地域振興部長、後藤三雄町長

### 地域の農業活性化と町PR (株)熊本玄米研究所と工場等立地協定締結

### 夢広がる本の世界 遊びの達人「図書館お泊まり探検隊」

菊陽町青少年健全育成町民会議の早期あいさつ運動が9月1日、菊陽中学校、2日に武蔵ヶ丘中学校で行われました。「おはようございます」と町民会議会員と生徒が気持ちのいいあいさつを交わしました。あいさつはコミュニケーションの輪を広げ、相手の気持ちを豊かにすることができるといえる大切なツールです。家庭や学校、地域といろんなところで声に出してあいさつをしましょう。

図書館お泊まり探検隊が8月20日夜21日、菊陽町図書館で行われました。町内の小中学生28人が参加。参加者は図書館職員の読み聞かせに耳を傾けたり館内を探検したりしました。その後、それぞれ絵本や物語などを好きなだけ読んでいました。たくさん本を読んだという参加者は「参加して本を読むことが好きになった。友達もでき、夏休みのいい思い出。また参加したい」と笑顔で話しました。



▲夜の図書館で本に夢中になる子どもたち

### 一日のスタートはあいさつから 青少年健全育成町民会議の早期あいさつ運動



▲あいにくの雨でしたが、元気にあいさつしました



## ガイド任せて

### 第3回子どもガイド養成講座

第3回子どもガイド養成講座が9月11日、南部町民センターで行われました。これは11月8日に鼻ぐり井手公園で開催される「鼻ぐり井手祭」に向けた準備で、この日の講師は菊陽町文化財ボランティアガイド会長の矢野誠也さん。菊陽南小学校の3、4年生30人は鼻ぐり井手、眼鏡橋、南郷往還跡などの町指定文化財やおもてなしの仕方を勉強しました。南小4年生のノノ文蒼稀さんは「楽しかった。忘れていたところもあったので良かったです」と意欲を見せました。



▲矢野誠也さんの質問に元気よく答える子どもたち

## 夢はプロボクサー

### 第8回U-15ボクシング全国大会

第8回U-15ボクシング全国大会が9月6日、東京・後楽園ホールで行われ、中山謙心さん(中部小6年)が45キロ級で見事優勝を飾りました。これは九州大会や西日本大会の予選を勝ち進んだ小学1年～中学3年生が出場できる大会。6歳からボクシングを始め、毎日2時間練習に取り組んでいるという中山さんは「1ラウンド目で決着を付けたかった。突き詰めて練習し、4連覇を目指す。夢はプロのボクサーでチャンピオンになること」と熱い闘志をのぞかせました。



▲3ラウンドKOで優勝を果たした中山謙心さん

## 大歓声響く

### 高遊原相撲大会

高遊原相撲大会が9月6日、益城町の相撲場で行われ、菊陽町、益城町、大津町、西原村の小中学生202人が熱戦を繰り広げました。本町は十数年ぶりに出場。友田向日葵さん(南小6年)が個人戦で優勝し、菊陽中柔道部が団体で準優勝、同部2年の宮里勇輝さんが個人戦で第3位と大健闘でした。友田さんは「初めての相撲では腰を低くすることに注意をした。技がうまくいった時には楽しかったし、中学校のお兄ちゃんたちが練習の時に優しくした」と話していました。



▲十数年ぶりの出場で好成績を収めた子どもたち

## チーム一丸 優勝目指す

### 第13回菊陽町すぎなみ杯争奪小学校軟式野球大会

第13回菊陽町すぎなみ杯争奪小学校軟式野球大会が9月5日、町民総合運動場で開催されました。

町内の小学校とクラブチームから参加した3チームが好ゲームを繰り広げました。優勝した武蔵ヶ丘野球クラブの坂口優斗主将は「チーム一丸となって優勝できたので良かったです」と喜びを話しました。

【優勝】武蔵ヶ丘野球クラブ

【準優勝】菊陽西小学校

【第3位】KCブルースターズ



▲好ゲームを繰り広げた3チームの皆さん

## 菊池郡市 総合3位

### 第70回熊本県民体育祭熊本市大会

県民最大のスポーツイベント・第70回熊本県民体育祭が9月12日・13日、熊本市を主会場として開催され、菊池郡市は総合3位の成績を収めました。

本町からは、軟式野球やゲートボールの他、各種目で選抜された選手、計66人が菊池郡市代表として本大会に出場。爽やかな秋晴れの下、選手たちは日ごろの練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。

結果は軟式野球3位、ゲートボール男子5位の成績でした。来年は阿蘇市で開催される予定です。



▲3試合を戦い抜いた野球(菊陽)チーム

## 秋の交通安全運動

### 大津地区交通安全推進大会

大津地区交通安全推進大会が9月12日、大津町文化ホールで開催され、大津警察署管内から約450人が参加しました。大会では交通安全関係の表彰や幼稚園児による交通安全宣言が行われました。今回は、お笑い芸人の「もっこすファイヤー」が交通安全漫才を披露。会場は笑いに包まれました。

その後、大津町文化ホール正面で白バイとパトカーによる街頭パトロールの出発式が行われると、会場を訪れた多くの人が笑顔で出発を見送りました。



▲幼稚園児による交通安全宣言

## 名刀の魅力学ぶ

### 日本刀講座「熊本ゆかりの刀～同田貫と蛭丸～」

熊本ゆかりの刀剣・同田貫と蛭丸を学ぶ講座が8月23日、菊陽町図書館で行われ、参加者25人が歴史に思いをはせました。

講師は山都町にある通潤酒造の菊池一哲さんと玉名市歴史博物館学芸員の兵谷有利さん。菊池さんは刀剣「蛭丸」の伝承を話しました。蛭丸は県北東部一帯を治めた阿蘇大宮司家の宝刀で、戦いで刃が欠けていた刀の上に蛭が集まり消える夢を見た次の日に元通りになったなどと説明しました。その後、材料の米の選定やデザインの細部までこだわったことなど日本酒・蛭丸を作るまでの努力と苦労を語りました。

兵谷さんは名刀「同田貫」について説明。兵谷さんの講座は今回が2度目で、刀と太刀の違いや自分に合った刀の選び方など前回の基礎的な内容に続いて、「古今鍛冶備考」という資料を使って話しました。同田貫の研究を続けている兵谷さんの詳しいお話に、参加者は真剣に聞き入っていました。

講演後は、会場内の展示見学や模造刀を持っての写真撮影など、参加者同士が和やかに交流していました。



1名刀・同田貫を説明する兵谷有利さん 2展示された同田貫の模造刀 3日本酒・蛭丸について語る菊池一哲さん



## 元気いっぱい

### 光の森キャロット保育園運動会

スポーツの秋が本格的に始まり、光の森キャロット保育園の運動会が9月12日、町民体育館で開かれました。この日は園児105人が日ごろの練習の成果を發揮。ダンスをしたり、走ったりと21種目を元気いっぱいに披露すると、温かい拍手が起きました。

保護者の柿山知枝さんは「応援にも熱が入りますね。涙あり、笑いありで子どもたちの成長を感じた一日。残りの園生活でもたくさんの思い出をつくらしてほしいです」と子どもの成長ぶりを見守っていました。



▲年長児全員によるピラミッドに歓声があがる

## 初！滑走路を歩く

### 阿蘇くまもと空港「空の日フェスタ2015」

「空の日フェスタ2015」のイベントの一つで、滑走路を歩く「ランウェイウォーク」が9月12日、阿蘇くまもと空港で初めて行われました。参加者25人は午前5時15分から約1時間の間、友人や家族と広大な阿蘇山を背景に写真を撮ったり、歩いたりして楽しんでいました。友人と参加したという石山紀子さん(熊本市南区)は「とっても楽しかった。阿蘇くまもと空港は季節によって見られる景色が違うのが良い。次もぜひ参加したい」と目を輝かせていました。



▲約99%が本町にある滑走路で写真を撮り楽しむ参加者

## 笑顔つなぐ

### 各地区の敬老会

長寿を祝う敬老会が9月13日・19日・20日・21日、各地区の公民館や町民センターで行われました。

南小校区の敬老会は9月21日、南部町民センターで行われ、対象者126人と婦人会など計約200人が出席。長寿者の表彰後、日舞や歌謡曲、フラダンス、トランペット演奏など20演目が披露されました。

83歳の佐藤逸雄さんは「好き嫌いなく食べることと趣味のカラオケが元気の秘けつ。好きなことをするのが一番健康になる」と笑顔を見せました。



▲菊陽南部ひよっとこ会の踊りに笑顔咲く会場

## 勇壮な獅子舞

### お法使祭の練習

お法使祭で奉納される「馬場楠の獅子舞」の練習が9月18日、馬場楠公民館で行われました。ことしのお法使祭は10月31日に馬場楠区と曲手区で開催。獅子舞は馬場楠区にだけ受け継がれているもので、獅子楽に合わせて5つの舞を踊ります。獅子を務めてこの道30年という指導者の高田秀隆さんは「ここに住んどのもの宿命。伝統芸能だけん、後継者をつくらなければいかんといけん。今みんなで一生涯練習しとる。勇壮な踊りを見てほしかね」と力を込めて話しました。



▲「本番は今以上の力を出す」と練習する高田秀隆さん(中)ら